

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	静岡大学	個人・グループ名	曲げ木教材開発プロジェクトチーム	作品名	曲げ木を活かした木製品
-----	------	----------	------------------	-----	-------------

## はじめに...

木材の曲げ加工は日本に古くから伝わる伝統技術であり, その仕上がりの美しさ, 滑らかさ, 柔らかさから, 様々な製品に使用されている。

「静岡大学曲げ木教材開発プロジェクトチーム」では,

- 1) 誰にでも簡単に製作ができる
- 2) 専用の治具を必要としない
- 3) 汎用性が高い

をコンセプトに, 曲げ木教材を開発した。  
今回使用した板材は厚さ3~4mmのヒノキ材である。



## ☆製作手順☆

- ① 濡れタオル・アルミホイルの順に木材に巻き, アイロンで10~15分加熱する。
- ② アルミホイルを巻いたまま, 治具に合わせて ゆっくりと曲げる。
- ③ タオル・アルミホイルを外し, 乾燥させる。
- ④ 曲げた材に製作物に合わせて底板・側板などを張り付けて完成! (写真例: 間接照明)



空き瓶を用いた曲げ(左)と固定治具(右)

## ~工夫点~

- 曲げ加工前処理にはアイロンを用いた。これにより, 1)材の大きさが制限されない2)水に長時間つける必要がない3)失敗してもすぐにやりなおせる, などのメリットが得られた。
- 治具には塩ビパイプを使用。丈夫な円柱形のものなら代用可能。また, 固定治具もバイス・クランプのほか, スリットを入れた固定治具を使用することでその後の製作工程も簡単になる。
- 材に薄板を用いたことで曲げ加工が飛躍的に簡単になり, さらに設計の自由度が増した。

